

介也重述つて朕をまて本陰に主を承さふか大勢の
神に心をかけたり去建と惣若忠当座の謀ふか
言語に絶する人これを感へたり

畑谷城江に五衛討死す

一 金津の城主上杉中納言宗勝逆を陽れり家康公大
軍を引率し當長五年正月松州大坂を逆襲ありて
州小山に所陣召れり又留治に少補主成宗勝の光に
直江山城守と内通し家康公を差挟み討たる事よし
知行廿五石米沢城主
西軍中軍の諸軍勢をお催しなる由に進みあつて先石田三成
と謀伐せんと小山の所陣に捕はれ登りあり金津の城を
いさ子息秀康卿を押しこめて守都官に所陣あり依て伴
達政宗も白石の陣を引捕はれ死す金津を為に成に
りて江山城守宗勝とて多し所所より下りて白